

連携計画当初案

事業 1

⇒資料 1 P53参照

・隣接市街地とのアクセス改善や公共交通空白地域の縮小に向けたコミュニティバスの運行

コミュニティバスの有料化を実施以降、利用者が減少しています。このような状況を踏まえ、近隣市街地とのアクセス改善や市内に点在する公共交通空白地域の縮小も視野に入れた御所市街地へのアクセス改善等、地域住民にとって、より利便性の高いネットワークを構築します。

○市内での移動をはじめ近隣市の市街地とのアクセス改善も視野に入れ、利用状況や地域住民のニーズ等を調査等により把握し、市が主体となり地域住民にとって、より利便性が高く効率的な路線及び運行形態に再編するための見直しの検討・実施を進めます。



御所市コミュニティバス「ひまわり号」

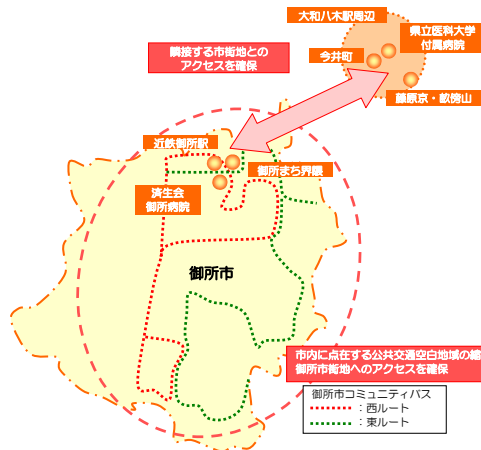


図. 隣接市街地とのアクセス改善と公共交通空白地域の縮小に向けたネットワークの構築のイメージ

連携計画最終案

事業 1

⇒ P53参照

・御所市中心市街地へのアクセス改善と公共交通不便地域の縮小に向けたネットワークの構築

コミュニティバスの有料化を実施以降、利用者が減少傾向にあります。このような状況を踏まえ、御所市中心市街地へのアクセス改善や公共交通不便地域の縮小により、地域住民にとって、より利便性が高く効率的な路線及び運行形態に再編します。

○利用状況や地域住民のニーズ等を調査等により把握し、市が主体となり地域住民にとって、より利便性が高く効率的な路線及び運行形態に再編するため、実証運行を行ないます。また、隣接する市街地とのアクセスできるルートについても実施に向けて、関係機関との協議・検討を進めていきます。



御所市コミュニティバス「ひまわり号」

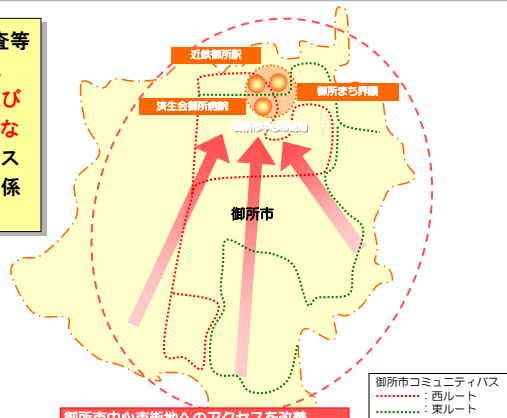


図. 御所市中心市街地へのアクセス改善と公共交通不便地域の縮小に向けたネットワークの構築のイメージ

橿原市との公共交通ワーキングの会議資料より

イオンモール橿原～橿原市南西部～近鉄御所駅の
新たなバスアクセスについてのメモ

橿原市の南西部地域(新沢地区等)は、この地域を運行していた路線バス(観音寺線)が平成15年に廃止されたこともあり、公共交通での移動が不便な地域となっている。その一方で、御所市方面からイオンモール橿原(アルル)や県立医科大学へのアクセス要望は強い。また、イオンモール橿原(アルル)周辺では、日常的に渋滞が発生しており、自動車来訪者の公共交通への転換が求められる。

そこで、本ワーキングでは、以下について検討することを目的として、定期的を開催したい。

イオンモール橿原～橿原市南西部～近鉄御所駅を結ぶ新たなバスアクセス方法の検討

今後、次のようなステップで検討を進めていきたい。

- Step1 必要性の検討
- Step2 ルート検討、アンケートをもとにした需要予測
- Step3 運行形態(料金やサービス水準など)、費用分担の検討
- Step4 バス停位置の検討、運行事業者選定、補助申請、運行申請

